

# 解 答 速 報

## 聖マリアンナ医科大学 一般選抜後期

英語

1

[1]	(1) (c)	(2) (d)	(3) (a)	(4) (b)	(5) (a)
[2]	気温がどれくらい高くなるか、低くなるかの予測がどれほど重要なものなのかということ。				
[3]	① 気温予測のミスが人々の死にいつ影響を及ぼすのかを理解することが容易ではないという理由。				
(a)	② 近年気象予測の精度が高まっているから、未だ生じる予測ミスが大きな影響を及ぼすのかがどうか当研究者たちにとって明らかではなかったという理由。				
[3]	実際の気温とその前日予測値と死亡数のデータを集め、同じ気温の日について、正確な予測をした場合と間違った予測をした場合の死亡者数を比較した。				
(b)					
[4]	(c)				
[5]	(b)				

2

[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]
(c)	(d)	(b)	(c)	(b)	(d)	[B]	(c)・(e)

3

[1]	(1) (b)	(2) (a)	(3) (d)	(4) (a)
[2]	(b)			

～講評～

- 1** : NPRnetwork の記事 *Should we invest more in weather forecasting? It may save your life* “気象予測にもっと投資すべきだろうか？ それによってあなたの命が救われるかもしれない”が出典であった。「気温予測の精度が人々の死亡数に与える影響に関する経済学研究」が趣旨の英文。研究に関する内容をまとめさせる記述問題という出題方式は例年と変わりなかった。前期と同じく記述量は減少傾向にあり、該当箇所も特定しやすかった。ただし、[3](b)の該当箇所（第5段落の内容）をわかりやすい日本語でまとめるには少し苦勞したかもしれない。
- 2** : THE SCIENTIFIC TEEN の記事 *Why Sugar is so Addictive* “なぜ砂糖にはこれほど中毒性があるのか”が出典であった。「狩猟・採集民族の時に必要とされた糖への欲求が、もはやそこまで糖が必要ではなくなった現代でも残存している経緯とその危険性」を述べる英文だった。分量・難易度は例年通り。2024年度前期と同じく、空所文補充の問題の出題が目立った。前後の構造・文脈を理解し、正確な論理展開を構築する力が試されている。[8]の内容一致も該当箇所が明確で、消去判断がしやすかった。
- 3** : 指示された状況に対して、文法・論理・文脈的に正しい文を選ぶ問題。ここ数年連続して出題されている形式である。メール内容に照らし合わせて適する文を挿入する[2]の形態は、2024年度前期から踏襲された。

全体としては制限時間内に解答するには十分な時間があると言え、記述量も例年より減っており、該当箇所もさほど特定が困難ではなかった。客観式問題も、そこまで難解な問題の出題は見られなかった。以上を踏まえると、落としてよい問題はないと言える。合格には70%～75%の得点を目指したい。



メルマガ登録（無料）または LINE 公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！  
メルマガ登録は左の QR コードから、LINE 友達登録は右の QR コードから行えます。



<p><b>渋谷校</b></p> <p>☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p><b>名古屋校</b></p> <p>☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p><b>大阪校</b></p> <p>☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第 1 ビル 3F</p>
<p>個別専門館 <b>麹町校</b></p> <p>TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p><b>ビッグバン京都校</b></p> <p>TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p><b>医特塾 阿佐谷本校</b></p> <p>TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>